

みらいをつくる

発行：泉佐野市教育委員会
教育部【2023年1月17日】

防災について学びました ～災害を「知り」「備える」ために～

11月4日(金)、東日本大震災を経験された災害伝承語り部 吉田亮一さん(消防庁防災アドバイザー)に仙台市から泉佐野市に来ていただき、日根野小学校(4・5・6年生)、第三小学校(4・6年生)、中央小学校(4・6年生)にて講演会を開催しました。



「地球は生きているから自然災害が起きる」「みんなは考えて行動することができる」「普段の備えや準備が大切」など、わかりやすい説明の後、登下校時に気をつけること、地震が起こった時のランドセルの使

方、授業中の机のもぐり方、おうちで寝ている時の姿勢等、具体的な場面でのロールプレイが行われました。また、防災用品の中身や置いておく場所、自分の住んでいる地域の避難場所の確認など、日ごろから意識しておく点も指摘がありました。



参加した子どもたちは、終始真剣に聞き入り、積極的に質問をしていました。

講演の最後は、前のスライドに写された「いつもみんなが助け合い、協力して、命の大切さと人を思いやる気持ちで、仲良く暮らし、災害に勝ちましょう」の文章をみんなで見ました。

11月5日は「津波防災の日」。子どもたちにとって、これからの防災・減災について考える貴重な、あっという間の時間でした。

3年ぶりに開催 長南ふれあい祭

11月12日(土)、長南小学校で第25回長南校区ふれあい祭が開催されました。

ふれあい祭は、長南校区地域教育協議会が、子どもたちが地域の中で友だちや大人とよりよくなつたり、すこやかに育ってほしいという願いをこめて開催しています。

コロナ禍のため3年ぶりの開催となった今回のふれあい祭では、検温や手指の消毒、定期的な換気やコーナーを分ける等、子どもたちが安心して参加できるように新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策が徹底されていました。



当日は天候にも恵まれ、就学前の子どもから大人まで、800人を超える方が参加しました。

運動場や教室に、ミニ機関車やわなげ、的当て、モルックなど、およそ20のお楽しみコーナーが設けられ、どのコーナーも楽しみにしていた子どもたちで大盛況でした。



また、レザークラフトやフリーマーケット、ストラックアウトなど、小中学生が運営するコーナーもあり、子どもから大人まで、ふれあう、楽しい一日となりました。来年の開催も楽しみです。



2022年度人権のつどい & 人権作品コンテスト表彰式

12月3日(土)、エブノ泉の森小ホールにて「2022年度泉佐野市人権のつどい」が行われました。

第1部は、音楽のつどいとして、チキンガーリックステーキさんによるアカペラコンサート～笑顔のハーモニー～が開かれました。「Stand by me」や「星に願いを」「上を向いて歩こう」などの名曲が素敵な歌声で披露され、あたたかい雰囲気になりました。

第2部では、今年度の泉佐野市小中学生人権作品コンテストの表彰式と「作文」「詩」「読書感想文」の最優秀賞作品の朗読が行われました。



泉佐野市小中学生人権作品コンテストは、「作文」「詩」「読書感想文」「標語」「ポスター」「書道」の6部門からなり、今年度は市内小中学生から851点の作品応募がありました。

表彰式では、それぞれの部門において最優秀賞と優秀賞に入賞した小中学生に、泉佐野市人権を守る市民の会会長から表彰状が贈られました。



表彰のあとの「作文」「詩」「読書感想文」の朗読発表では、子どもたちが日々のくらしや学校生活の中で感じた人権の大切さや課題についての思いを発表し、会場のみなさんから大きな拍手が送られました。

また、当日は小ホール前にて、最優秀賞・優秀賞受賞作品および入選作品の展示も行いました。多くの方にご覧いただくことで、人権についての理解を深める機会になりました。

